



天龍製鋸株式会社



平成20年3月期 中間決算説明資料

平成19年11月22日

お問い合わせ：☎ 0538-23-6111

E-mail : info@tenryu-saw.com

企業集団の状況

1

当社の企業集団は、当社と連結子会社2社と非連結子会社2社で構成されており、鋸・刃物類の製造、加工及び販売を主な事業内容としております。事業に係わる位置づけは次のとおりであります。

■生産体制

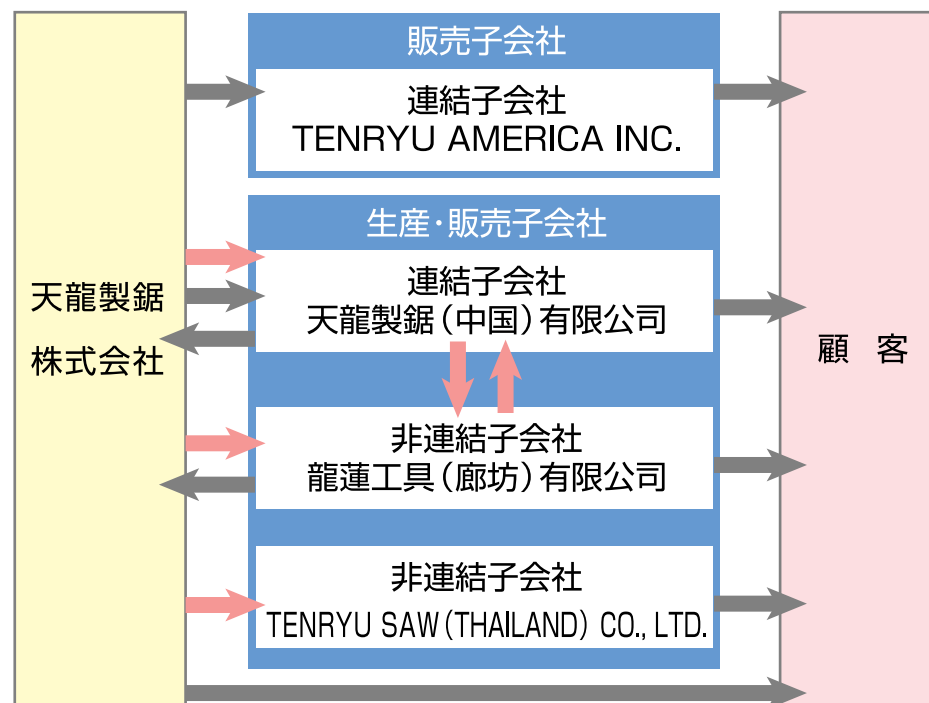
国内においては、当社が生産し、海外においては、天龍製鋸（中国）有限公司、龍蓮工具（廊坊）有限公司及びTENRYU SAW（THAILAND）CO., LTD.が生産しております。

■販売体制

当社では、国内及び海外に販売しております。TENRYU AMERICA INC.では、米国市場を中心に販売しております。天龍製鋸（中国）有限公司では、中国市場を中心に販売しております。龍蓮工具（廊坊）有限公司では、中国市場を中心に販売しております。TENRYU SAW（THAILAND）CO., LTD.では、タイ国内に販売しております。

■事業系統図

製品等の動き → 材料等の動き →



業績の概要

2

《連結》

- ・ 売上高：
4,497 百万円
- ・ 経常利益：
772 百万円
- ・ 当期純利益：
368 百万円

■ 経済の動向

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、円安を背景として輸出型企業を中心に企業業績は好調を維持し、穏やかな拡大基調を続けました。

海外経済情勢では米国の住宅投資の減少やサブプライムローン問題による景気の減速がありました。アジア、ヨーロッパ等では地域的な拡大を伴う景気拡大がありました。

■ 営業の動向

このような情勢の中で当社グループは、米国の住宅関連産業の急激な冷え込みにより米国子会社の売上は減少いたしました。中国子会社や日本での受注増に伴い、グループ全体では、前期を上回る販売実績となりました。

この結果、当中間連結会計期間の売上高は4,497百万円（前年同期比4.4%増）、営業利益は717百万円（前年同期比6.6%増）、経常利益は772百万円（前年同期比2.5%増）、中間純利益は368百万円（前年同期比53.4%減）となりました。

なお、前期には退職金制度変更による特別利益が582百万円計上されており、また当期は当社株式の公開買付や買収防衛策導入に係る対応費用として165百万円の特別損失を計上いたしました。

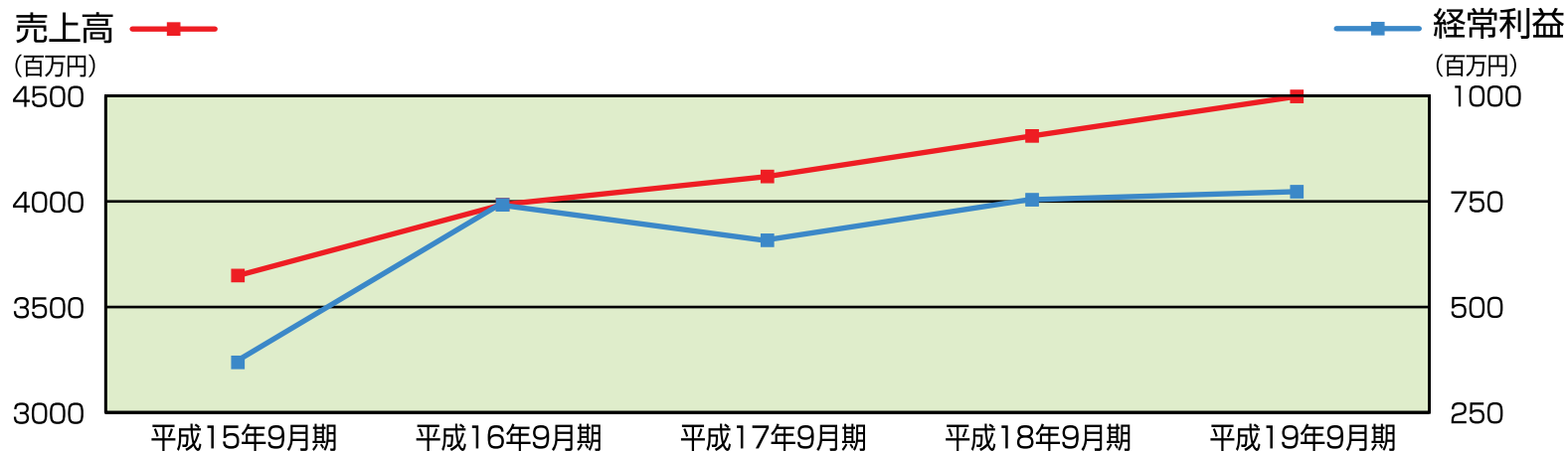
連結決算の概要

3

(単位:百万円)

	平成15年 9月中間期	平成16年 9月中間期	平成17年 9月中間期	平成18年 9月中間期	平成19年 9月中間期	増減額 (増減率)	平成18年 通 期
売上高	3,649	3,985	4,118	4,310	4,497	187 (4.4%)	8,830
営業利益	498	561	541	673	717	44 (6.6%)	1,313
経常利益	368	741	657	753	772	19 (2.5%)	1,465
当期純利益	312	482	466	791	368	△423 (△53.4%)	1,260

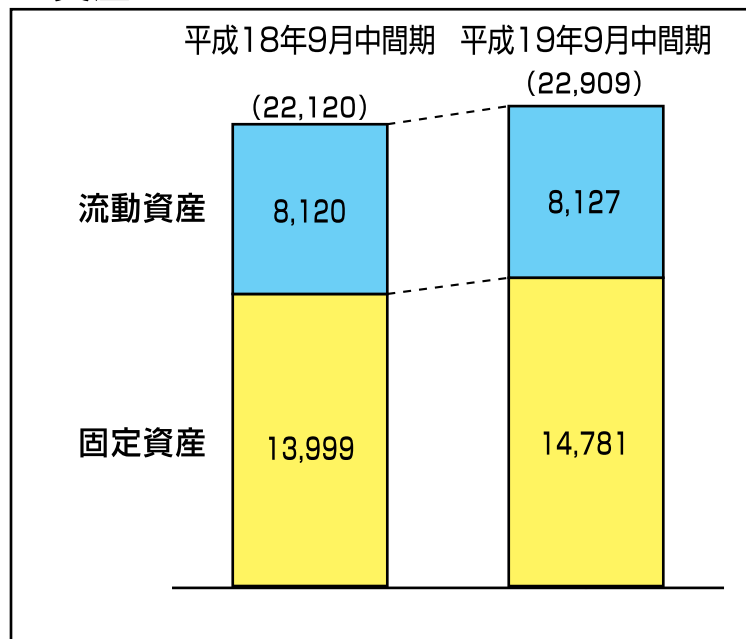
連結ハイライト数値推移



中間連結貸借対照表

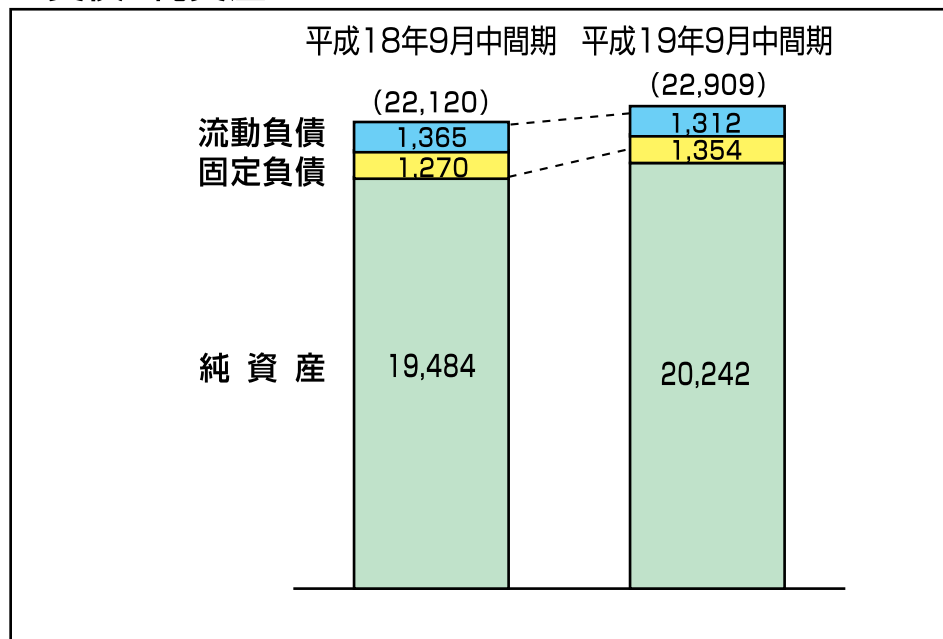
資産

(単位:百万円)



負債・純資産

(単位:百万円)



■ 資産増減：788百万円

〈増減内訳〉

● 流動資産：6百万円

現金・預金 : 351
有価証券 : △ 300
受取手形・売掛金 : 18

● 固定資産：781百万円

投資有価証券 : 210
有形固定資産 : 633

■ 負債・純資産増減：788百万円

〈増減内訳〉

● 流動負債：△53百万円

短期借入金 : △200
支払手形・買掛金 : 65
未払法人税等 : △23

● 固定負債：83百万円

繰延税金負債 : 106
役員退職給与引当金 : △24

● 純資産：758百万円

利益剰余金 : 398
為替換算調整勘定 : 348
その他有価証券評価差額金 : 107

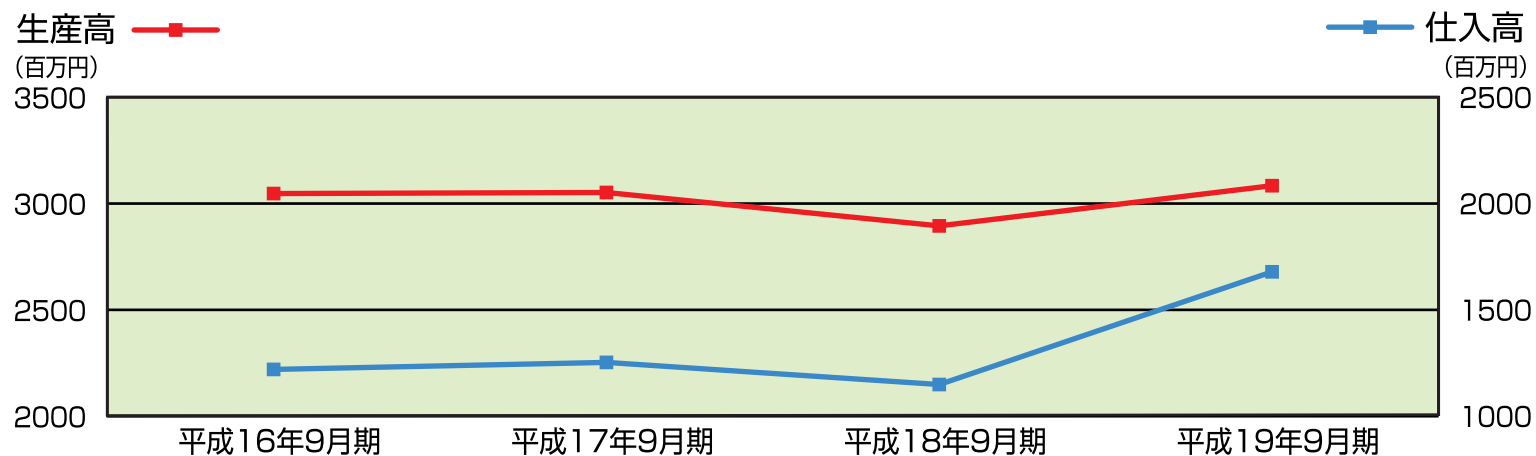
生産・仕入状況

5

(単位:百万円)

種 類	生産高					仕入高				
	平成16年 9月中間期	平成17年 9月中間期	平成18年 9月中間期	平成19年 9月中間期	増減率	平成16年 9月中間期	平成17年 9月中間期	平成18年 9月中間期	平成19年 9月中間期	増減率
電動工具用チップソー・刃物	1,837	1,602	1,642	1,546	△5.8%	424	348	255	657	157.2%
製材、木工 その他産業用チップソー・刃物	1,138	1,383	1,201	1,476	22.9%	396	463	417	629	50.6%
製材、木工 その他産業用機械・刃物	71	66	51	61	19.9%	397	440	473	391	△17.4%
合 計	3,047	3,052	2,895	3,084	6.5%	1,218	1,251	1,147	1,677	46.2%

※上記金額は、平均販売価格によっております。
※上記金額には、消費税等は含まれておりません。

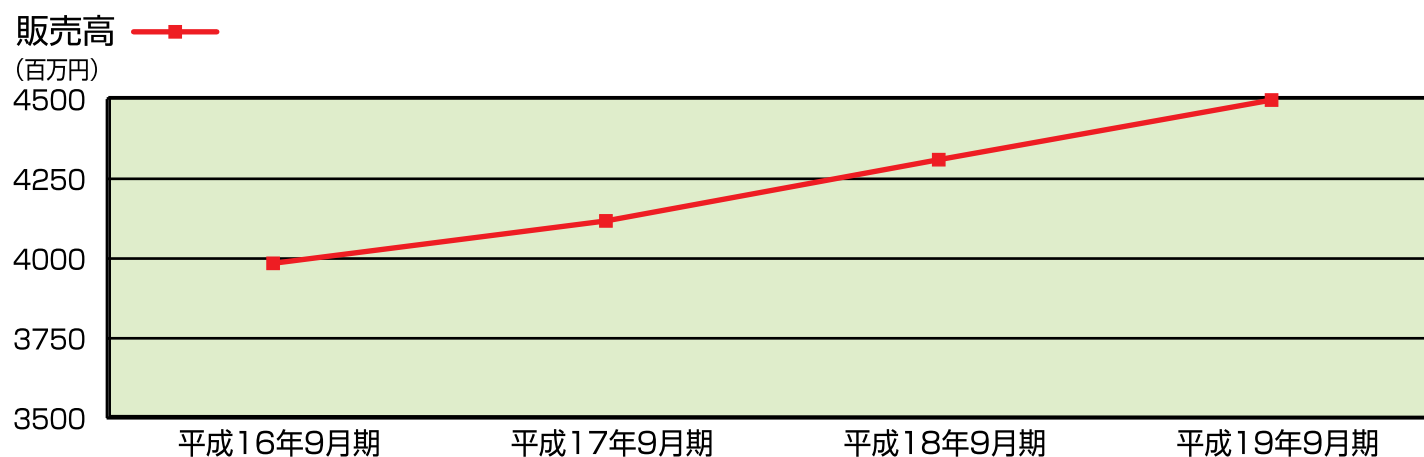


販売実績

6

(単位:百万円)

種 類	販 売 高				
	平成16年 9月中間期	平成17年 9月中間期	平成18年 9月中間期	平成19年 9月中間期	増減率
電動工具用チップソー・刃物	1,909	1,742	1,911	1,878	△1.7%
製材、木工 その他産業用チップソー・刃物	1,484	1,725	1,811	1,939	7.1%
製材、木工 その他産業用機械・刃物	559	613	571	663	16.1%
そ の 他	31	36	15	15	0.6%
合 計	3,985	4,118	4,310	4,497	4.4%

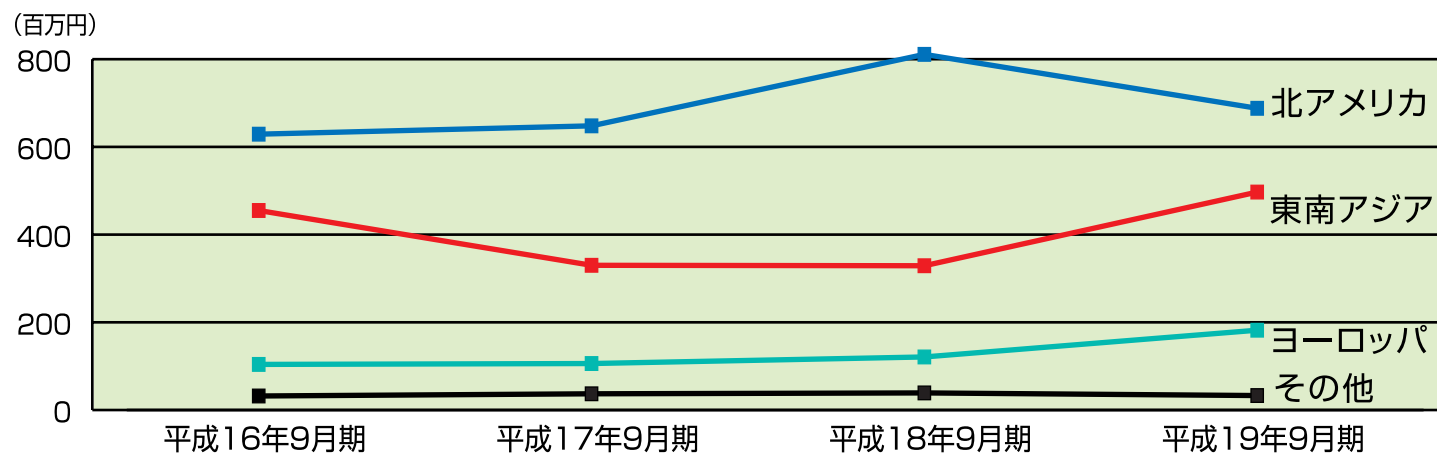


海外売上高

7

(単位:百万円)

	平成16年9月中間期	平成17年9月中間期	平成18年9月中間期	平成19年9月中間期
東南アジア	455	330	329	497
北アメリカ	629	648	811	688
ヨーロッパ	104	106	121	182
その他	32	37	39	33
合計	1,221	1,122	1,302	1,401



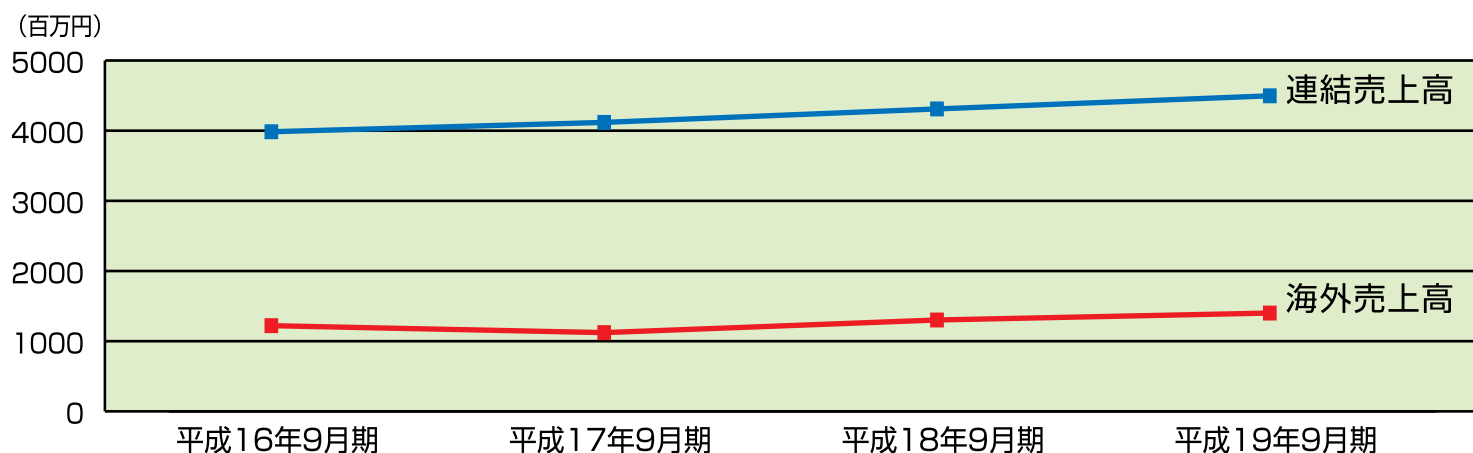
※海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。

海外売上高と連結売上高合計

8

(単位:百万円)

	平成16年9月中間期	平成17年9月中間期	平成18年9月中間期	平成19年9月中間期
海外売上高	1,221	1,122	1,302	1,401
連結売上高	3,985	4,118	4,310	4,497
連結売上高に 占める 海外売上高	30.6%	27.3%	30.2%	31.2%



※海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。

通期の見通し(連結)

9

(単位:百万円)

	平成19年3月期	平成20年3月期		
	実績	見通し	増減	増減率(%)
売上高	8,830	8,900	70	0.8
経常利益	1,465	1,414	△51	△3.5
当期純利益	1,260	730	△530	△42.1

通期の見通し

米国住宅関連産業の低迷や、わが国における住宅着工件数の大幅な落込みに加え、為替相場の動向、原油価格および原材料価格の変動等、景気の先行きは予断を許さない状況が続くものと思われま。

こうした中、当社グループでは19年3月に竣工した第3工場を中心とした生産ラインの見直しを図り、コスト低減を図ってまいります。また、販売面では製品のグローバルな販売の促進に努めてまいります。

通期の連結業績といたしましては、売上高は8,900百万円(前年同期比0.8%増)、営業利益は1,320百万円(前年同期比0.5%増)、経常利益は1,414百万円(前年同期比3.5%減)、当期純利益は730百万円(前年同期比42.1%減)を見込んでおります。

本資料についてのご注意

本資料は、業績の進捗状況の参考となる情報提供のみを目的としたものであり、投資等の最終決定は投資家ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また本資料を判断材料とした投資の結果等に対する責任は負いかねますのでご了承ください。

本資料中の予想または計画は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は経済情勢等今後様々な要因によって予想または計画数値と異なる場合があります。